

建設業団体における 担い手確保・人材育成の取り組み

一般社団法人石川県建設業協会 常務理事 きたむら きよなり 北村 清成

一般社団法人石川県建設業協会では、これまで若年建設従事者の確保および育成対策のため、①工業系高校生の富士教育訓練センターへの研修派遣、②現場見学会の実施、③現場実習（インターンシップ）の実施、④国土交通省、建設人材確保・育成推進協議会の実施する「私たちの主張」作文コンクールの積極的参加などに取り組んできました。

しかし、ここ十数年来の建設投資の減少や若者が現場を敬遠する傾向により建設産業界の若年就業者の減少が著しい傾向にあります（H12 H22で70%減）。

当協会では、これらの状況に対処するため、今年度、①建設系工業高校生を対象とした「建設業に関するアンケート調査」と②「建設業協会と地元工業高校生との懇談会」を実施することにしました。以下にその取り組み状況を報告します。

1. 建設系工業高校生に対するアンケート

石川県内には土木・建築系学科を持つ工業高校は過去に5校存在したが、現在は受験希望者の減少から3校に減少しています。今回、これら3校の土木・建築系の学科で就学する3年生135名を対象に若手技術者が入職し定着するための方策を検討する基礎資料とするため「建設業に関するア

ンケート」を実施しました。

(1) 学科別・性別回収状況（回答率100%）

学科・コース	土木系			建築系			総計
	性別	男	女	合計	男	女	
人数	51	12	63	40	32	72	135

(2) 調査項目

今の学校の進学理由、建設業の魅力、建設現場を見て感じる事、卒業後の進路、建設業に就職しない理由、どんな職種に興味があるか、就職先を決める事由、就職先に対する家族の意向、建設業について知りたい情報の9項目としました。

(3) アンケート結果（抜粋）

① 建設業の魅力について（回答数二つ）

魅力をたずねたところ、ものづくりの喜びを味わえる、地図に建設物を残すことができる、地域に貢献することができるなど肯定的な意見が多く見受けられました。

② 卒業後の進路（進学・就職）について（回答数二つ）

進路をたずねたところ、県内の建設会社に就職が半数近くを占め、建設会社に勤務と建設系上級学校に進学を含めると2/3となり、建設業以外に就職と建設以外の上級学校に進学を含めると1/4

弱となりました。

③ 建設業または建設系上級学校を希望する人の興味を持つ職種について（複数回答）

興味を持つ職種をたずねたところ、土木技術者、建築技術者、設計が多く、大工、重機運転、とび、内装などの技能労働も多く見受けられました。

④ 就職先を決める上で何が最も重要だと思いますか（回答数二つ）

就職先を決める上で何が最も重要かを聞いたところ、やりがいのある仕事、経営が安定している、楽しく仕事ができるが多く、給料が高い、社内の雰囲気が出るも多く見受けられました。

⑤ 建設業について知りたい情報は何か（回

答数二つ）

知りたい情報についてたずねたところ、仕事の内容、仕事に必要な資格を大多数が知りたがり、また、給与、休日、勤務時間等の待遇面も多く見受けられました。

2. 石川県建設業協会と地元工業高校生との意見交換会

今後の建設業界の担い手となる高校生に建設業の現状を理解してもらい、また、高校生が実際の仕事をどのように感じたり、不安に思っているのか、会社に対してどのようなことを期待しているのかなどを素直に話し合うため、高校生との意見

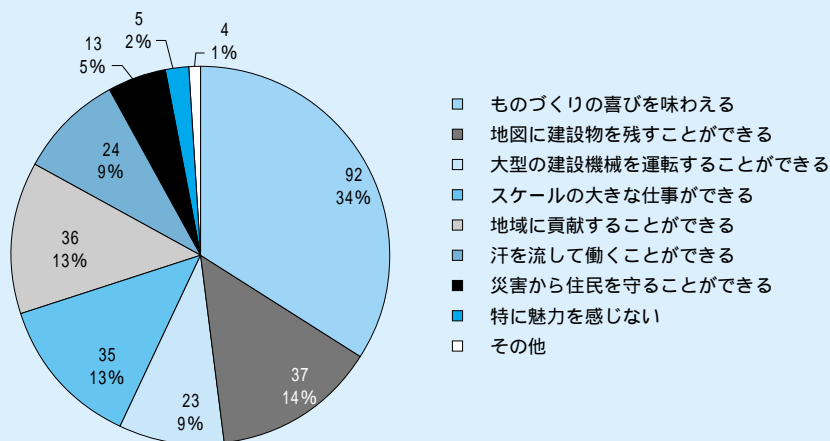


図 1 建設業の魅力は何だと思いますか？

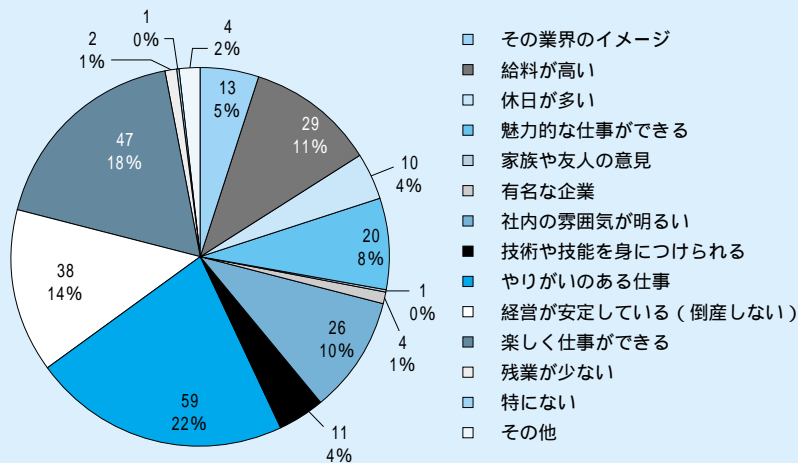


図 2 就職先を決める上で何が最も重要だと思いますか？

交換会を平成25年7月4日に開催しました。

(1) 出席者

建設業協会からは、会長、副会長、雇用対策特別委員長、青年委員会など

学校側からは、金沢市立工業高等学校長および土木系学科の2年生

(2) 協会からのプレゼンテーション

学校側から意見交換会の前に建設業の実情を生徒に話して欲しいとの希望があったため、協会側から、建設産業（公共事業）役割・使命、建設技術者（監督）の仕事内容、会社に入ってからライフサイクル（3年後、5年後、10年後の仕事内容や待遇面）、建設産業のIT化（設計、施工）の現状についてプレゼンテーションしました。

(3) 意見交換のテーマ

意見交換会を実りあるものとするために、建設業のイメージについて、建設（現場）を敬遠する理由、建設会社に期待することにテーマを絞って意見交換を行いました。

(4) 意見交換会での主な意見

- ・資格を取るときに会社で講習を受けられるか
- ・ITを利用して施工するということだが、公共事業ではどこまでIT利用が可能か
- ・建設業は現場での仕事、外での仕事が多い、女性でどのような仕事ができるか
- ・県内と県外の仕事の違いは（県外勤務はあるのか）
- ・高校のときにとっておいた方が良い資格はあるか
- ・自分は運動部でやる気と根性と体力だけだが大丈夫か
- ・山から木を切っているが、環境とかは大丈夫かなど、生徒側から建設業に対する素朴な質問から具体的な質問などが出され、協会側から丁寧に回答することで建設業に対する理解を深めることに努めました。

当協会では、今年度内にも残る2校と意見交換会を開催するとともに、引き続き若年建設従事者の確保および育成対策に努めていきたいと考えています。



写真 1



写真 2